



平成 23 年 11 月 11 日

各 位

会社名 株式会社 進学会
 代表者名 代表取締役社長 平井崇浩
 (コード番号 9760 東証第 1 部)
 問合せ先 取締役常務執行役員
 管理本部長 松田啓
 (TEL 011-863-5557)

平成 24 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 業績予想と実績との差異
 および有価証券評価損に関するお知らせ

平成 23 年 5 月 13 日に公表しました平成 24 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、当社が保有する「投資有価証券」に区分される保有有価証券のうち、簿価に比べて時価が低下したものについて、平成 24 年 3 月期第 2 四半期において有価証券評価損を計上する必要が生じたのでお知らせいたします。

記

●業績予想と実績との差異

平成 24 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想と実績との差異

(平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

[単位：百万円]

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	一株当り四半期純利益
前回発表予想(A)	3,145	100	150	30	1円50銭
今回修正予想(B)	3,025	62	125	119	6円00銭
増減額(B-A)	△119	△37	△24	89	
増減率	△3.8%	△37.6%	△16.6%	299.9%	
(参考)前第2四半期実績(平成23年3月期)	3,110	91	△319	△419	△20円99銭

平成 24 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 個別業績予想と実績との差異

(平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

[単位：百万円]

	売上高	経常利益	四半期純利益	一株当り四半期純利益
前回発表予想(A)	2,890	60	10	0円50銭
今回修正予想(B)	2,781	△124	△120	△6円03銭
増減額(B-A)	△108	△184	△130	
増減率	△3.8%	—	—	
(参考)前第2四半期実績(平成23年3月期)	2,863	△323	△422	△21円12銭

注) 前第 2 四半期実績は開示していないため、参考値を記載しております。

差異の生じた理由

個別業績におきましては、東日本大震災の影響による春期講習未実施地区の発生やそれに伴う新学期の出足の遅れ等で売上が計画を下回り、このため営業利益についてもコストダウンに努めましたが計画を達成するには至りませんでした。また、経常利益および四半期純利益は市場価格下落に伴う有価証券評価損を計上したため計画を下回りました。

連結業績におきましては、上記の理由により営業利益は計画を下回りましたが、持分法による投資利益の発生及び特別損失が当初予想の水準を下回ったため、四半期純利益は計画を上回りました。

●平成24年3月期第2四半期における有価証券評価損

[単位：百万円]

	単体	連結
(A) 平成24年3月期第2四半期会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)の有価証券評価損の総額(=イ-ロ)	200	200
(イ) 平成24年3月期第2四半期累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)の有価証券評価損の総額	218	218
(ロ) 直前四半期(平成24年3月期第1四半期)累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)の有価証券評価損の総額	18	18

※四半期における有価証券の評価方法は、切放し方式を採用しております。

※当社の決算期末は、3月31日です。

○純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

[単位：百万円]

	単体	連結
(B) 平成23年3月期末の純資産額	21,447	21,550
(A/B×100)	0.9%	0.9%
(イ/B×100)	1.0%	1.0%
(C) 平成23年3月期末の経常利益額	380	422
(A/C×100)	52.8%	47.5%
(イ/C×100)	57.6%	51.8%
(D) 最近5事業年度の当期純利益額の平均額	237	246
(A/D×100)	84.5%	81.7%
(イ/D×100)	92.1%	89.0%

※平成23年3月期の連結当期純利益の額が平成23年3月期の連結売上高の1%の額に満たないため「直近5年間の連結当期純利益の額の平均」の30%の額を基準として記載しております。

今後の見通し

平成24年3月期の通期業績予想につきましては、前回公表(平成23年5月13日付)数値からの変更はありません。今後の経済環境の変化等で業績予想の修正を行う場合は、適時開示いたします。
※上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上